

インフォシスの実習生、ロンドンでヨーク公アンドルー王子に 拝謁

100人の実習生うち最初の5人が18ヵ月間のジョブ・トレーニングに参加

2012年9月17日(ロンドン)：本日、ヨーク公アンドルー王子はロンドンのカナリー・ワーフにあるインフォシスの欧州本社を訪問され、新規採用された5人の実習生とお会いになりました。

アンドルー王子は2月にダボスで開催された世界経済フォーラムにおいてインフォシスの最高経営責任者S. D. シプラルとお会いになった後、同社のロンドン・オフィスを訪問し、5月の女王陛下御即位60周年記念祝典ではバンガロール本社も訪問されています。

バンガロールでは、英国におけるインターン制度助成の取り組みについてインフォシスに祝辞を述べられました。インフォシスは、今回の取り組みで今後5年間に100人の若者に実習の機会を英国に提供することになります。最初のグループは国内インターン・スキーム(NAS)におけるレベル3「ビジネスおよびアドミニストレーション」とレベル3「システムおよびネットワーキング」資格に基づき実務体験を開始し、コンサルティングとテクノロジーの世界トップ企業の財務部、マーケティング部、IT部、人事部、営業部において12ヵ月から18ヵ月間のトレーニングに参加します。

インフォシスの欧州責任者BG スリニバスは次のように述べています。「こうした若い人達がビジネスの世界でキャリアをスタートする上でジョブ・トレーニングがいかに重要となるか、当社は光栄にもヨーク公に直接説明する機会を頂きました。各ジョブ・トレーニングには個別の育成計画があり、経験豊富なメンバーと一緒に働きながら職務に応じたスキルを獲得することができます。」

アンドルー王子が今回インフォシスの実習生とビジネス・リーダー達と会われたのは継続的に行っている取り組みの一環であり、先進的なビジネスにおいて実習とOJTによってスキルを高める機会を若者に与えるというイニシアチブの促進が目的です。

英国のNAS は英国国内においてジョブ・トレーニングのサポート、資金提供、コーディネーションを行っており、実習機会の増加と、企業と実習生に両方に対する献身的なサービスの提供に努めています。

インフォシスは、英国各地においてe-skills UKの率いる国内企業間グループComputer Club for Girls(女性向けコンピュータ・クラブ)に所属しています。このグループは、学校訪問、トーク、その他イニシアチブを通じてIT 業界における女性のキャリア育成を支援しています。インフォシスは企業と地方の学校の結びつきを支援する団体、East London Business Alliance(東ロンドン・ビジネス・アライアンス)とも協力し、多彩なプログラムのサポートや策定を行っています。

インフォシスのグローバル・インターンシップ・プログラムであるInStepでは、2004年以降88人のインターン生(その内18人は昨年度)を受け入れてきました。InStep は英国における短期実務経験について2012年度全国職務経験委員会賞を最近受賞しました。

当社について

当社の15万人の社員は測定可能なビジネス・バリューを提供することで世界で活躍する多くの企業から信頼を得ています。当社はビジネス・コンサルティングからテクノロジー、エンジニアリング、アウトソーシングまで幅広いサービスを提供して世界30 カ国以上のお客様に未来企業を目指すお手伝いをしています。

当社(NASDAQ:INFY)に関する詳細は当社Web サイトをご覧ください。www.infosys.com

当社はグローバル企業のイノベーション主導型成長を促進しています。フォーブス社の「最も革新的な企業100社」の19位に選ばれています。次世代型コンサルティング、テクノロジー、アウトソーシング・ソリューションを提供するリーダー企業として、当社(NASDAQ:INFY)の15万人の社員が世界30カ国以上のお客様に未来企業を目指すお手伝いをしています。詳細については当社サイトをご覧ください。www.infosys.com

ヨーク公について

ヨーク公(アンドルー王子)は、若者が現代の職場において経済的に生産性を上げるにはインターン制度やスキル・トレーニングが非常に重要であると理解されています。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のあるITサービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2011年会計年度(2012年3月31日付)年次報告書(Form 20-F)や2011年第1四半期(2011年4月-6月期)、第2四半期(2011年7月-9月期)、第3四半期(2011年10月-12月期)の各四半期報告書(Form 6-K)を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先：

ポール・デ・ララ
インフォシスリミテッド
電話: +44 207 516 2748
Paul_delara@infosys.com